

県内で新たに見つかった害虫 トマトキバガに注意！

令和4年3月16日

鹿児島県病害虫防除所

トマト等の害虫であるトマトキバガがフェロモントラップに誘殺されました。

トマトキバガの発生が疑われる場合は
鹿児島県病害虫防除所 Tel：099-245-1157にご連絡下さい。

◇主な寄主植物

トマト、ナス、ピーマン、バレイショ、タバコなどのナス科植物が主な寄主植物です。マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されています。

◇トマトにおける被害の特徴

葉では、表面を残して内部を幼虫が食害し、薄皮状になります（写真1）。
果実では、幼虫が食入して数mm程度の穴が生じ、食害部分が腐敗します（写真2）。

【写真提供：宮崎県総合農業試験場】



写真1 幼虫の食害による被害葉



写真2 幼虫の食害による被害果

◇形態の特徴

成虫：体長は翅（はね）を閉じた静止時で5～7mmです。

翅は灰褐色で黒色斑が散在します（写真3）。

幼虫：終齢幼虫で約8mmに達し、体色は淡緑色～淡赤白色です。

前胸の背面後縁に狭い黒色横帯があります（写真4）。



写真3 トマトキバガの成虫
昼間は葉の裏に隠れています（夜行性）



写真4 トマトキバガの幼虫
右下矢印は前胸背面後縁の黒色横帯